

第9期かかみがはら高齢者総合プラン第4回策定委員会 会議録【要旨】

1. 開催概要

開催日時	令和5年9月25日(月) 14:00-15:30
会場	本庁舎4階第1・第2会議室
出席者	柴崎委員、竹内委員、稲垣委員、後藤委員、立川委員、後藤委員 松浦委員、鹿島田委員、脇田委員、石樽委員、加藤委員
議題	1. 開会 2. 議事 (1) 第8期計画における施策・事業の進捗状況について (2) 第9期かかみがはら高齢者総合プラン(案)について 3. その他 4. 閉会
配布資料	資料1-①：第8期高齢者総合プラン施策・事業進捗状況 資料1-②：第8期高齢者総合プラン施策・事業進捗状況 資料1-③：第8期高齢者総合プラン施策・事業進捗状況 資料2：かかみがはら高齢者総合プラン(案)

2. 会議録要旨

事務局

定刻となりましたので、ただ今より第9期かがみがはら高齢者総合プラン第4回策定委員会を開会いたします。

委員長

(委員長によるあいさつ)

事務局

ありがとうございました。

それでは議事に移りたいと思いますが、ここからは委員長の進行により本日の議事を進めてまいります。委員長、どうぞよろしく願いいたします。

委員長

それでは、次第に従って議事を進めていきます。審議事項は2点ございますが、事務局からの説明後に順次、皆さま方からご意見やご質問を頂きたいと思っております。それでは、初めに第8期計画における施策事業の進捗状況について、事務局の説明をお願いします。

事務局

(事務局による説明)

委員長

ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明について、ご質問、ご意見がある方はご発言いただきたいと思っております。いかがでしょうか。

委員

今お話がありましたように、評価としては順調だとか、おおむね順調っていうのが多かったかと思っております。事業の参加者数を見ても、前年度などに比べて増えてきているのが多いため、それはありがたいと思っております。

質問ではないですが、フレイル予防のところ去年、フレイル予防ウォーキングってのをされていると思うのですが、8期事業として見当たらないのですが。

委員長

ありがとうございます。

フレイル予防ウォーキングはどういった事業でしょうか。

事務局

昨年度スマートフォンアプリを活用したウォーキング事業を始め、598名の方にご参加いただき、年齢、性別によって設定された目標を達成した人が507名いま

した。

多くの方にご参加いただいたということで、今年度、また定員を増やして実施しており、9期計画には掲載する予定です。

委員長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。私から、フレイル予防に関しては認知度が50%いくか、いかないか、地域包括支援センターも50%くらいということで、関心のない人、そういう言葉も知らない、包括についても認知されていないことは少し心配というか。

事務局

フレイルの言葉自体、浸透していないことが、この数字から見えてくるっていう指摘ですね。

委員長

そうですね。もともと片仮名はなかなか理解しづらいっていうのが多々あって、かといって虚弱っていうのは変だし、難しいとこですね。

事務局

そうですね。虚弱ではストレート過ぎるので、そこをフレイルと言い換えると和らぐ印象もありますが、意味が伝わりにくい。今まで以上に啓発を進めていけないといけないのかなと考えております。

委員長

わかりました。ありがとうございます。

近隣ケアは、各務原市独自の取り組みっていうことで非常に評価があるところですが、実際に関わっている方々の話を聞くと、相当大変というのを聞いていまして、このまま継続してやりきれぬのかという意見や、担う人も高齢化しているという声も聞かれます。

事務局

令和3年度から令和4年度にかけて認知しているところで、グループ数が5つ減っていますけれども、ここ数年のコロナの影響もあると考えています。第9期期間においては減っていくようなことがないように、支援を続けていかないと考えております。

委員長

ありがとうございます。あと、地域ケア推進会議がちょっと実施されていないということですが、政策提言じゃないですけども、いろんな提案をしていくっていう機能を求められているので、個別のケース検討の中から、そういう市に対していろんな提言っていうのは行われていますか。

事務局

定期的に実施している地域ケア個別会議の中で、常に包括とは連携を取っているという状況です。ただ、推進会議は実施に至ってないというところで、そこは一つの課題であると考えております。

委員長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員

基本目標7の介護人材の確保の件ですが、かなり令和4年度の人材の確保の方では感謝していますが、ただ、実際はまだまだ不十分な状態があって、事業としてこういう対策を通じて、回数を重ねてやっていただいたかもしれないんですけど、実際の確保としては、もしかしたら不調かもしれないという部分も、私はそのような感想を持ちました。やっていただくことは感謝しています。ただ、なかなか人が、むしろ学生さんとかいろんな事情で、やっぱりまだまだ厳しい状況が続いているっていうような気がします。

事務局

ありがとうございます。人材確保については、より良い人材を確保できるように協議会の方とも協力し、また、専門機関であるハローワークとの連携を今後も引き続き取り組んでまいりたいというふうに考えております。

委員長

他にいかがでしょうか。それでは、皆さんからの意見等も踏まえまして、まだ第8期は終わってないので、最後の年も引き続きこの第8期の事業を進めてもらいたいというふうに思います。また、いろんなデータ見ていると、第8期の事業のうちコロナ禍で思うように進めることが難しかったっていうものもあります。

目標に達していない事業もありますけども、少しでも目標に近づけるように、市はこれも今後、取り組んでもらうっていうことで、第8期の進捗状況についてはこれで了承っていうことでよろしいですかね。ありがとうございます。

事務局

ありがとうございます。

委員長

それでは、続きまして第9期かかみがはら高齢者総合プラン案について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(事務局による説明)

委員長

ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明について、何かご意見、ご質問ございましたら、皆さま、ご発言、お願いします。

委員

感じたところですが。19 ページの認定率の推移ですが、各務原市は認定率が低いですが、伸び率が県や国より高くなって、将来、増えるかもわからないかなと気になりました。これのためには、フレイル予防などが重要になってくると思います。ここを十分に注意してやらなければいけないかなと思いました。

委員長

ありがとうございます。やはり各務原市は以前から、いろんな健康運動の取り組みをずっとやっていますので、そういった効果も十分期待できるのではないかなと思います。

事務局

ありがとうございます。確かに 19 ページの表、全国や岐阜県はほぼ横ばい、なだらかな右肩上がりですが、それより低いとはいえ、各務原については上がりがきついているところは心配で、実際に介護予防を行う人を増やすことが大切だと思いますので、フレイル予防などの取り組みを続けていきたいと思っています。

委員長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。では、私から、地域包括支援センターの機能強化について、地域包括支援センターの役割は非常に重要とされていて、第 8 期の時に話が出ましたが、包括にはいわゆる専門職 3 職種を置くということでしたが、プラス 1 名、2 名の職員が採用できるようなちゃんと手当てをしましょうねという話が出たと思うんですけど、それはいかがですか。

事務局

7 期以降に認知症地域支援推進員を各包括に 1 名増員しており、機能強化の一つとして実績がありますので、そういったことも含めて、今後もさらに強化できるように支援を行っていきたいというふうに思っています。

委員長

ありがとうございます。他、いかがでしょうか。

委員

高齢者に対する移動支援の補助金を活用している団体が 2 団体あるとのことですが、その補助金とはどういう制度ですか。また、人口が減っていく中で、サービスを提供する側を増やす方法について、どう考えていますか。

事務局

ありがとうございます。住民主体の地域の高齢者等移動支援事業補助金制度は、

自治会等がタクシー事業者等と契約して高齢者の移動支援を行う場合に、自治会がタクシー会社に払うお金の 2/3 を補助する制度です。利用者からも 1 回 100 円とか 200 円とか決められた金額を徴収して、例えば 1,000 円の運賃に対して 100 円は利用者からもらい、残り 900 円が補助対象となります。現在、2 団体が利用しており、それを 4 つの団体に増やすという意図になります。

委員

各務原市の中で実際、どこでやっていますか？

事務局

須衛地区と緑苑地区で自治会などがタクシー会社と契約して事業を行っています。ルートは介護予防と関連させて自宅から通いの場などのほか、病院、スーパーなども設定されています。

委員

魅力的ですけど、どうして 2 団体にとどまっているのでしょうか。

事務局

申請する団体の負担があることも、理由の一つかと思われます。

委員

じゃあ、その負担が取り除ければ、広がるかもしれない？

事務局

もちろん。ただ一方で今、タクシー会社も人手が足りないという問題もありますので、なかなか契約するのも難しいかもしれないって面もあります。因みに、今年度はもう 1 団体増えて、3 団体が活用されています。

2 点目、サービスの担い手を増やすっていうことでは、われわれも問題意識を持っておりませんが、ただ、具体的に増やしていく策は持ち合わせてないところでして、これは粘り強く啓発を行っていくしかないのかなと思います。

委員長

ありがとうございます。1 については、もう 10 年以上前から可児市のとある地域では、団地で自治会がバスを出しています。ただ、お金を取るっていうと、陸運局、駄目だって言うので、結局、お金取らないでやっています。ただ、募金箱があって入れるようなところはありましたけども、やっぱり課題としては運転手さんの確保と保険です。

他にいかがでしょうか、ご質問、何か。どうぞ。

委員

12 ページ、年少人口と生産年齢人口とだけ表示されていますが、それぞれの年

齢も記載したほうが分かりやすいと思います。

事務局

わかりました。修正します。

委員

あと、26 ページでは、アンケートの調査対象を、②は居宅要支援・要介護認定者っていうふうですが、例えば 30, 31 ページの本文の中では、その②っていうのはこの調査対象のことを指しているの、表記を合わせた方がわかりやすいかなと思いました。

それと、50 ページの所に認知症施策を上の方に上げられることはなるほどと思いましたが、本人ミーティングの開催っていうのが具体的、あるいは実際にこんなことやられてみえるとか、あと面白いものは何なのか、ちょっと教えていただけたらありがたいなと思います。

事務局

わかりました。ありがとうございます。まず、ご指摘の 12 ページの図表の年齢区分を入れた方がいい、年齢を表示した方がいいっていうことですね。修正いたします。

続いて、25 ページの図表の②の居宅要支援・要介護者っていうところの「居宅」を取る形に修正いたします。

また、基本目標 2 の認知症施策の推進における 50 ページの図表の中の 6、本人ミーティングの内容は、そのままですが、本人さん同士で集まってミーティング、話し合いをするという内容です。今月が世界アルツハイマー月間っていうことで、今年度は図書館の 1 階のロビーで世界アルツハイマー月間の展示をしており、今週の金曜日に 10 時から 12 時にかけて、呼びかけしている認知症の方に集まっていただいて、展示を見た後、那加福祉センターで話し合う場を設ける予定をしております。

手探りで今年やってみようかなっていうことで、これも継続してもう少し積み重ねていき、将来に向かって発展させていきたいというふうに思っています。

委員長

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。それでは、なければ第 1 章から第 4 章、そのうち第 4 章第 7 節の (2) の基盤整備については次回ということで、それ以外のものにつきましては、第 9 期のかかみがはら高齢者総合プランということで、おおむね了承ということでよろしいでしょうか。また細かいところのお気付きの点がありましたら、事務局の方にご連絡いただいて、次回の会議に付したいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

では、時間も大分過ぎましたので、本日はありがとうございました。以上をもちまして本日の議事は終了いたしましたので、事務局の方にマイクをお返しします。

事務局

委員長、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして第4回策定委員会を終了いたします。なお、第5回の開催につきましては、次第に記載してある通り、11月下旬を予定しており、改めてご案内いたします。どうぞよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。お気を付けてお帰りください。

(終了)